

第2回全体研修会

認知症高齢者におけるシンポジウム

「介護者様の負担軽減」～ケアマネジャーに伝えたいこと～

開催日時 平成21年10月31日(土) 13時30分～15時30分
開催場所 さいたま市プラザイースト 多目的ルーム

司会進行 さいたま市在宅ケアサービス公社

シンポジスト 特別養護老人ホームリハビリハウス

浦和すずのきクリニック

認知症の人と家族の会

きらめいと武蔵浦和デイサービスセンター

野崎 直子氏

邨山 由紀子氏

鈴木 淳也氏

川村 セツ子氏

宮林 ユカリ氏

第2回全体研修会は、族の会の川村セツ子氏からシンポジストの4名の方には「ケアマネジャー」

をお迎えし、認知症高 には何でも話せるような 宮林ユカリ氏は認知症

齢者におけるシンポジウ 人であってほしい、介護 対応型デイサービスにお

ム「介護者様の負担軽減」 者家族には誰か気遣って いて認知症の方々の取

りケアマネジャーに伝え くれる人がいることが何 り組みやケアマネジャー

たいこと～をテーマに よりも大切であるなどご に求めることなどのお話

行った。 自身の経験から貴重なお をされた。邨山由紀子氏

まず、認知症の人と家 話が、家族の会の活 は認知症のご家族やご本

人にとつてのショートス テイやデイサービスの意 義などについて、また鈴 木淳也氏は医療との連携 について偏見のない関係 を作っていきけるようにと のお話があった。

日頃なかなか聞くこと のできない立場の違う 方々の少し厳しいお話も あり、充実した研修会と なった。

なお、先般、さいたま 市介護支援専門員協会と 川崎市介護支援専門員 連絡会との意見交換会で 親睦を深めた副会長 中 馬三和子氏にもゲストと してお越しいただきまし た。

ARTIST

Vol,18

2009年冬号



太宮区ケアマネサロン

どうしている？男性介護者への支援

開催日時 平成21年7月30日(木) 15時30分～17時00分

開催場所 (財)さいたま市在宅ケアサービス公社大宮

センター(2階A会議室)

夏の雷雨の中、各居宅介護支援事業所・地域包括支援センターから14名の参加で第1回の大宮区ケアマネサロンは開催する事ができた。

初回の開催にあたり、心地よい緊張感のもと簡単な自己紹介と近況報告を行い、座談会形式で話し合いを行った。

介護保険制度がスタートし、10年を迎えるのに、介護を取り巻く悲しい事件がまだ数多く報告されている今、私たちの身近なさいたま市浦和区でも起きてしまった。77歳の夫による73歳の要介護者である妻の殺害」という介護の専門職である介護支援専門員、介護に携わる全ての介護関係者に問題を投げかける事件に対して「男性の介護者への支援」について振り返ってみようというテーマに取り上げ1回目のサロンは始まった。

「いつまでも元気で暮せるように、そして介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して過ごせるように」という介護保険の目的も世間に浸透し、介護

ように目的を持ち日々の訪問を行い会話、表情・家屋環境などから変化を見つけ、それを糸口に利用者・介護者の本心に気付く事ができ、さらに情報を深め信頼関係を強く持てたことなど経験し学んだことなど数多くのエピソードが話され、とても有意義な時間を過ごす事ができた。

日々の業務に追われる毎日だが、同じ大宮区で同じ業務に就き個々に違う経験を持っている仲間が身近にいることを感じる事ができ、終了時間にはすっかり雨も上がり気持ちよく帰宅した、初回ケアマネサロンだった。

北区ケアマネサロン

もっと地域のデイサービスを利用しよう。そのためには地域のデイサービスをよく知ろう。

開催日時 平成21年9月11日(金) 13時30分～15時30分

開催場所 高齢者生きがい活動センター

第2回北区ケアマネサロンは、適切なケアプランに結びつけるために、地域のデイサービスの特徴をよく把握することを目的に、北区内のデイサービスの代表者に各々の特徴や受け入れ状況などを説明していただいた。13のデイサービスの代表者と12名のケアマネの参加があった。

デイサービスにはあらかじめアンケートを配布し、送迎範囲や加算、自己負担額、特徴などについて回答をいただき、さらに5分程度のPRをしていただいた。また、ケアマネからの質問にその場で答えていただき、最後に名刺交換の時間も設けた。

デイサービスからは、力を入れている部分やセールスポイントがよく表われているPRを聞くことができた。また、それぞれの事業所が日々の努力を重ねて利用者を楽しみや安全を提供している様子が見られた。これまで接点のなかったデイサービスについても知るこ

とができ、デイサービスの選択の幅が広がり、利用者のニーズに合ったプラン作成に結びつけやすくなったのではないだろうか。また、お互いの顔を知り近づきになったことで、連携が図りやすくなることも期待する。

今後は、地域の高齢者が地域の中で安心して生活できるようなプラン作成に結びつけられるような情報交換の場として、デイケアやショートステイについても同様の企画を予定している。



西区ケアマネサロン

西区通所介護事業所との交流会

開催日時 平成21年8月7日(金) 18時00分～19時15分
開催場所 敬寿園宝来ホーム地域交流コーナー

第1回西区ケアマネサロンは、ケアマネとデイサービスが、より一層の連携を図る為の交流会として開催された。当日は夕方から大雨、雷という悪天候にも関わらず、デイサービスが11事業所、ケアマネが14名参加し、初対面も多く見られ、少し緊張した雰囲気の中、進行された。

初めに、各デイサービスの担当者から、アピールしたい特徴や情報などを熱く語っていただき、ケアマネも、真剣にメモを取りながら耳を傾けた。紹介していただいたデイサービスの主な特徴として、パワーリハビリの導入や、按摩や鍼灸の実施、足湯やアロママッサージなど、身体機能の維持・向上を積極的に行っている事業所や、認知症ケアを重視している事業所、又、外出や外食ツアーなどの楽しい時間の提供をモットーにしている事業所など、本当にそれぞれ個性ある特徴を紹介していただき、ほとんどの事業所が2分間の制限時間では足りないほどであった。

その後、ケアマネからの質問コーナーでは、

Q 「土日も営業している事業所はどれくらいあるのか？」
また、「平日と休日の利用者数の違いから、平日と休日の過ごし方や内容に違いはあるのか？」という質問に対し、年中無休で営業している2事業所から、

A 「日曜日は平日に比べ利用者数が少ないため、利用者と一対一でゆっくりと会話を楽しめたり、少人数ならではのレクリエーションや気軽に外出したりなど、大勢では難しい内容を取り組めることがいいところ。」との返答をいただいた。その他の質問も、利用者への情報提供として、とても役立つ内容であった。

各事業所の紹介の後、交流レクコーナーとして、テーブル対抗インスピレーションクイズを行い、さらに交流を深めた。「○○と言えば何？」という質問に対し、同じ言葉で連想した人数が多い方が勝ちとなるが、3問目、4問目の質問になると「利用者が望む

デイサービスとは？」など少し硬い内容の問題となり、楽しみながらも、皆さんの真剣な表情が垣間見られた。そして、自然とケアマネとデイサービスとの会話も弾み、あつという間に終了時間となった。

最後まで、和やかな雰囲気の中で、地域のデイサービスとの交流が図れ、とても充実した、中身の濃い時間となり、活気ある交流会となった。

終了後、会場となった施設内を見学したり、サロンについての質問などもいただいた。次回もたくさんの方に参加し、目指し、頑張っていきたい。



南区・浦和区合同ケアマネサロン

開催日時 平成21年9月15日(火) 16時00分～18時00分
開催場所 埼玉会館会議室
参加者 南区16名、浦和区15名、合計31名

今年度初めてのケアマネサロンは昨年同様、南区と浦和区での合同開催で行った。

今回は介護保険制度の中のリハビリテーションについて医療法人青木会青木医院 医師青木悟氏と理学療法士の江口紘史氏、岡田哲也氏を講師に迎え勉強させていただいた。お話は通所リハビリと訪問リハビリを中心にしていた。通所リハビリでは通所介護や外来との違い、要介護に至った原因、疾患の特徴まで細かくご講義いただいた。訪問リハビリでは高齢者リハビリの特徴や具体的な事例の紹介など幅広く教えていただいた。

講義後の質問では通所リハビリではサービスに関しての質問が多く、青木医院さんでは午前午後の短時間性導入や送迎確保、食事の有無も選択できるなど個々のケースに合わせたサービスに驚き、訪問リハビリでは認知症のリハビリ効果など教えていただいた。

最後に「訪問リハビリの定員が一杯になった際は評価のみという選択肢も可能ですか？」との質問があった際、青木先生よ

り「通所リハビリテーションは定員があるが訪問リハビリに関しては満員と言う定義はありません。サービスが一杯になってきたら職員をその分増やせばいいだけ。通所リハビリテーションに關しても要望が多く定員になるようなら今後通所介護での機能訓練など視野に幅広く考えて行きたい」との力強いお言葉をいただき、今後一層期待できるサービスが増え、良い情報交換が出来たサロンとなった。



中央区・桜区ケアマネサロン

開催日時 平成21年10月10日(土) 13時00分～15時00分
開催場所 地域密着 小規模多機能型居宅介護施設
介護なんばーわん

今回は、さいたま市中央区では初めての小規模多機能型施設なんばーわん(平成21年4月開所)の見学を行った。小規模多機能型施設は、さいたま市内でも数が少なく利用者への認知度も低いのが現状だ。今回は中央区代表幹事の黒川愛氏はじめ中央区・桜区のケアマネ約10名が参加した。

道路から少し入ったところに駐車スペースと花が溢れる庭が広がりテラスに面している。3階建ての集合住宅の一階部分の二世帯分が内部でつながり施設となっている。この日は利用者も利用している最中での見学となった。まず、代表取締役社長の木村弘美氏の案内で内部の泊まりの部屋、キッチン、トイレ、浴室など全体の説明をしていた。その後、小規模多機能のケアマネジャーである中澤マキ子氏より現在の利用状況や今までの



経過などのお話があり、質疑応答を行った。現在の利用者は計13名、利用者のご希望に合わせて顔なじみのスタッフによるデイサービス、訪問・ショートステイのサービスが1ヶ月定額料金(介護度)で受けられる。在宅を希望される方々にとっては地域の施設で家庭的な援助を受けられる場所となっている様子がかがわれた。晴天のこの日、利用者はスタッフと一緒に楽しそうに外出された。

西区・北区ケアマネサロン

もつと地域のショートステイを利用しよう!
そのためにも、地域のショートステイをもつとよく知ろう!

開催日時 平成21年11月13日(金) 13時30分～15時30分
開催場所 特別養護老人ホーム扇の森

今回は、北区・西区合同で、地域のショートステイの特徴をよく把握することを目的に、北区・西区内のショートステイの代表者に各々の特徴や受け入れ状況などを説明していただいた。5カ所のショートステイ代表者と18名のケアマネの参加があった。

ショートステイ事業所にはあらかじめアンケートを配布し、送迎範囲や加算、自己負担額、特徴などについて回答をいただき、さらに5分程度のPRをしていただいた。出席のなかった事業所については、アンケートの回答が報告された。質疑応答の後には、簡単なゲームをして場が和み、名刺交換や個別の対話をしつつ終了となった。

ショートステイからは、各事業所の特徴がよく表われているPRを聞くことできた。また、緊急の利用に対応してもらえるか、熱発時にどう対処してもらえる



かなどの質問についての回答からは、ケアマネが日々の業務で経験する不測の事態に、ショートステイ側が前向きに対応してくれるという心強さを感じた。

今回は、「地域の高齢者が地域の中で安心して生活できる」、そんなプランの作成に結びつけられるような情報交換の場として、デイケアについても同様の企画を行なう予定である。

見沼区・岩槻区合同ケアマネサロン

「病状に基づいた食事療法について」
「家庭で簡単に食事療法を継続させる」

開催日時 平成21年10月16日(金) 18時30分～19時30分

開催場所 コミュニティセンター(ワッツ) 五階アトリエルーム

今回は「病状に基づいた食事療法」として、講師に(株)エッグスヴィン 管理栄養士の須田さや香氏をお招きして、病状別の食事内容、病例とし糖尿病、腎臓病の方に対する食事療法の留意点についてお話しをいただいた。この病気であるから、こうしないとイケないという観点から離れ、代替え等を行なう事で病気の方においても、食事を楽しむ事が出来るのではという感じをうけた。

次に、実際に宅配クックが提供している食



事を拝見し、試食させていた
いた。配食サービスの提供はし
ていても実物を見た事がなかつ
たので、病気や嚥下などの問題
ある方の食事を実際に体験がで
き、柔らかく食に關しても形状を
残して柔らかくしてあるので何
を食べているのか分かりやすい。
他の食事に關してもしっかりと味
が付いており、カロリーや栄養
を考えながら作っているので安
心して提供できると感じた。

今回の研修において病気を
しっかりと把握し、楽しい食事、
安心できる食事の提供が大切な
こと、また今後、増えるであろ
う高齢世帯、独居生活者に対し
てのサービスに活かしていけれ
ばと思った。



施設介護支援専門員研修の報告

「平成21年度第2回研修会」

テーマ「認知症介護の歴史を学ぶ」「認知症高齢者の理解」

開催日時 9月12日(土) 13時30分～17時00分
開催場所 埼玉精神神経センター

今回は、さいたま市認知症介護指導者
の寺岡氏、川見氏の両名を講師に迎え、
「認知症介護の歴史」「認知症高齢者の理
解」について講義をいただいた。施設従
事者であれば非会員でも参加可とし、且
つ、会員であれば居室のケアマネジャー
も参加できるオープン形式として開催。
21名(会員5名・非会員19名、施設従事
者19名・居室2名)が参加した。

川見氏の講義では、理念・方法論がな
く行動制限や抑制を主とした1970
年代以前のケアなきケアの時代から問題
対処型ケアの時代、環境面を重視した
1985年頃、90年代のノーマライ
ゼーション・人權擁護のケア、現在の全
人的ケアの考え方に至るまで、認知症介
護の歴史を通観した。そして、これから
目指すべきパーソン・センタード・ケア
について学習した。

寺岡氏からは、「認知症によって引き
起こされる様々な障害について理解し、
認知症の人の気持ちになつて考えられ
る」を目的とした講義をいただき、演習
を行なった。

アンケートからは「時代の流れと介護
認知症の理解の変化がわかりやすかつ
た」「日々の自分たちのケアを振り返る
よい機会になった」などの声が多く聞か
れ、有意義な研修会となったようだ。



「川崎市介護支援専門員連絡会」& 「さいたま市介護支援専門員協会」の意見交換会

開催日時 平成21年9月4日(木) 16時00分～18時00分
開催場所 川崎市介護支援専門員連絡会事務所

9月4日、「川崎市介護
支援専門員連絡会」と「さ
いたま市介護支援専門員協
会」の意見交換会が行われ
た。参加者は当該連絡会、
協会をはじめ、川崎市社会
福祉協議会地域包括支援セ
ンター調整課、株式会社環
境新聞社、月刊ケアマネジ
メント編集部、川崎市健康
福祉局長寿社会部介護保険
課からの参加もあり、計18
名となった。

最初に、川崎市介護支援
専門員連絡会会長 小川
眞悟氏より川崎市の紹介が
あり、人口140万人、多
摩川に沿った土地に7区の
行政区があり、川崎市介護
支援専門員連絡会の会員は
約530名で構成されてい
る。

川崎市介護支援専門員連
絡会は個人会員であり人口
規模や政令指定都市など、
さいたま市との共通点多
い。

内容は、会の概略とこれ
までの取り組みについてそ
れぞれ紹介し、会運営の工

夫点などの意見交換が行わ
れた。

関係機関との連携や研
修、緊急連絡網など、具体
的な内容についても活発な
意見が交わされ、またマ
ニユアル類の紹介もあつ
た。地域は違つても思いは
一緒で、横のつながりをも
つたことは大きい。

最後の感想で、今後も意
見交換会を実施したいとの
声も多く聞かれ、自己研鑽
し合うことを確かめ合いな
がら会を締めくくつた。

本会終了後、コラボレー
ション第2部が開催され、
さらにお互いの親睦を深め
ることができた。



ほのぼのさんぽ

ストップ！理不尽な連鎖！！

松本 幸司

秋はいいなあ・・・っと感じる天気の良い日があったり、やけに冷たい雨がふったりして落ち着かない日々。落ち葉を踏む音が心地よくて、わざわざ道をそれて歩く日もあれば、じっとり水分を含んだ落ち葉一枚を避けて歩く日もある。なんて勝手な生き物なのでしょ！っと、自分を叱りつけてみたりしている。

今日も我が家は、平日・休日を問わず「ガキンチョ1号&2号」がやかましいったらありゃしない。「ガキンチョ1号(3歳)」が遊んでいるオモチャを「ガキンチョ2号(10ヶ月)」が無邪気に破壊し口の中へ！「1号」大泣きしながら、「2号」からオモチャを取り上げる！「2号」大泣き！「父親(36歳)」おろおろ・・・！「母親(秘密☆)」は「父親」に対して怒りをぶつける！！という「理不尽な連鎖」が日常的に起こっている。

そんなある日の事、オモチャの取り合いで「理不尽な連鎖」が始まりそうな予感・・・。今日こそは連鎖を止めようと思った時、いつもと様子が違う事

に気が付いた！「1号」が「2号」にオモチャを破壊されても泣かずに一緒に遊び始めたのだ！！

「父親」は何もすることはなく、自然に「ガキンチョ」と「父親」に平和が訪れた！

必要以上に介入しなくても、勝手に自分で良い方向を見出す事が出来る・・・。これぞ「見守り」ではないのか？そうなのかもっ！！

気をつけないと介入をしがちになってしまう「コノお仕事」。上手く行かないなあ・・・って時こそ、「見守る」余裕が必要なのもかもしれないな・・・っと、「ガキンチョ」から教わる事が出来ました！！

ガキンチョ1号&2号～！育てているつもりが、育ててもらってありがとさーん！お礼にアイス買いに行くぞーっ！（お金は「母親」の財布より徴収）カーチャンにはナイショでな！！

その後、ガキンチョ1号が母親の尋問にアッサリと口を割り、「父親」が怒られるハメになりました・・・。まあ、いつもの事ですけど☆還できました・・・

あとがき

松のうちのにぎわいも過ぎて、おとそ気分から抜ける頃となりました。

今年も「読んで頂ける広報誌」を目指してまいりますので、ご意見・ご要望などございましたらご連絡ください。よろしく申し上げます。

事務局より

会員の住所・事業所等登録事項に変更があった場合や入会・退会希望の場合は事務局までご連絡ください。

さいたま市介護支援専門員協会 事務局 野崎・西間木

(財)さいたま市在宅ケアサービス公社内

電話番号 048-645-7470

FAX 048-645-7500

リニューアルしたので見てくださーい！！

ホームページ

<http://www.saitamashi-keamane.jp>